

第74回大会 TEAM FUKUOKA NEWS

福岡県選手団サポートニュース H31.2.19 Vol.4

第74回国民体育大会冬季大会の幕が下りる。

北海道釧路市（スケート・アイスホッケー競技）、札幌市（スキー競技）で行われた熱戦は17日に幕を下ろした。すべての競技が終了し、現在の福岡県の順位及び得点は以下のとおり。

◆第74回国民体育大会冬季大会都道府県総合成績一覧より（スケート・アイスホッケー・スキーを含めた成績）

	天皇杯（男女総合成績）	皇后杯（女子総合成績）
都道府県順位	17位	9位
得点	96点	63点

表1 第74回冬季国体終了時点での男女総合得点一覧

表2 73回本国体の得点合計

表3 74回冬季 + 73回本国体の得点合計

そしてステージは茨城へ・・・

表1は、第74回冬季国体終了時点での上位18県及びライバル2県の得点一覧。表2は、73回福井国体の得点。そして、表3は、74回茨城国体において、各県が73回福井大会の得点を獲得したと仮定した場合の総合得点と順位である。シミュレーションではあるが、本県は8位となった。しかし、現実にはそんなに甘いものではない。やはり茨城国体においても、「1500点以上の獲得」を目指すことが、8位以内入賞を果たす最低条件となるだろう。更に、赤塗りの4県については、ライバル県でもあり、茨城でも激戦が予想される。特に、茨城県は開催県でもあり、天皇杯争いをする事が予想されるだろう。また、次年度開催県が、ここ数年8位以内に食い込んでいることから、鹿児島県は確実に強化してくるだろう。しかし、勝負は始まったばかりである。

北海道で戦った選手の想いは力となり、茨城で戦う選手を後押しする。今後、TEAM FUKUOKAの戦いは加速していく。

ミニコラム

今大会のスキー競技大会は、九州大学に所属する選手が6名出場した。中でもジャイアントスラロームに出場した中野翔太選手は以下のコメントを送ってきてくれた。優秀な指導者からは、「素直さ」は「競技力向上の必須要素」であるとよく耳にする。中野選手のような素直な競技者と出会えたことが嬉しくもあり、今後の彼のパフォーマンスの伸びが楽しみだ。

応援していただきまして誠にありがとうございました。完走できず悔しい結果に終わった者もいましたが、日本有数の難コースを滑ることができ、大きな経験が積むことが出来ました。



【中野選手】

順位	都道府県	得点合計	昨年比	得点合計	順位
1	北海道	441	9	975.25	9
2	長野	368.5	-69	796	12
3	茨城	172	114	1062	11
4	青森	165	9	536.5	20
5	山形	152	12	677.25	16
6	東京	146	-15	2085	2
6	神奈川	146	14	1479	7
8	秋田	144.5	4.5	647.5	18
9	新潟	138	-27	627.5	19
10	埼玉	136	5	1694.5	4
11	兵庫	120	19	1211.5	10
12	愛知	118	-25	1544.5	6
13	岩手	115	-24	800.5	14
14	群馬	104	18.5	760.5	15
15	福井	100.5	-44.5	2751	1
16	山梨	100	-4	699	17
17	福岡	96	-27	1345	8
18	大阪	91	-39	1750	3

28	千葉	44	-1	1663.5	5
43	鹿児島	20	0	1021	13

HP「ふくおかスポネット」でもニュースレターを配信しております。ぜひご覧ください。

作成者：福岡県選手強化推進実行委員会事務局〔福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課〕

TEL：092-643-3924